

剪定枝・刈草の資源化に向けた ワークショップ

かわら版

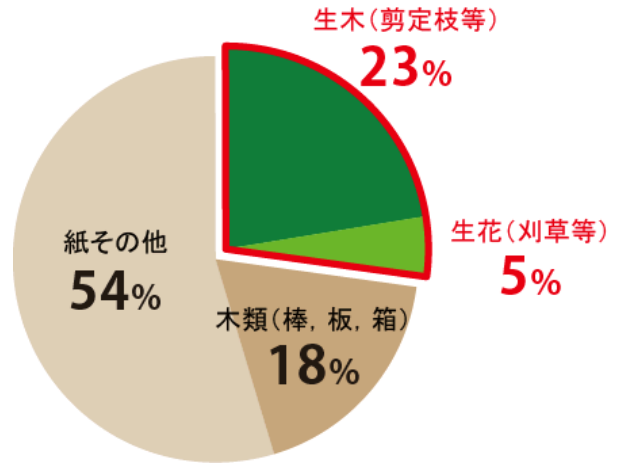
第1号 平成24年12月発行

● 京都市の現状とワークショップの目的

京都市では、H32年度のごみ量をピーク時（H12年度）と比べて半減させる目標で「ごみ減量対策」を進めています。

クリーンセンター（焼却処分）への持込ごみのうち、約1万トン／年（約28%）を剪定枝及び刈草の搬入量が占めています。このため、再資源化施設を活用した円滑なリサイクルを推進し、剪定枝・刈草をリサイクルルートに移行することで、焼却処分量を削減することを目指しています。

このような背景から、より有効で継続可能なリサイクル推進の仕組みをつくるため、「剪定枝・刈草の資源化に向けたワークショップ」を開催することになりました。（ワークショップは全部で3回開催予定です）



京都市クリーンセンターへの持込ごみの組成(平成22年度)

ワークショップとは？

異なる立場の者同士が同じテーブルについて意見やアイデアを自由に出し合うことで、より良い方向を導き出す方法です



● 第1回ワークショップの開催内容

10月31日(水)に第1回ワークショップを開催し、19名にご参加いただきました。

目的 「 剪定枝・刈草の資源化を進めるうえでの課題抽出 」

日時 平成24年10月31日(水) 18:30～(約2時間) 場所 サンサ右京5階大会議室1

参加者 造園関連業者団体 ・京都市造園建設業協会様・京都府造園協同組合様
民間再資源化施設 ・堆肥化施設様・燃料化施設様
京都市 ・環境政策局事業系廃棄物対策室, 建設局水と緑環境部緑政課(オブザーバー)

- プログラム
- 1.開会
 - 2.目的・進め方の説明
 - 3.業務の相互理解
 - 4.自家処理についての説明
 - 5.班分け・席替え
 - 6.アイスブレイク(自己紹介)
 - 7.グループワーキング
 - 8.グループごとの発表
 - 9.全体討議
 - 10.閉会



グループワーキングでは、「日々の作業の上で気をつけていること・困っていること」を、作業のステップ毎に挙げていただきました。

● グループワーキングで挙げた課題のまとめ

- ①現場での異物除去・選別に手間が掛かる
- ②再資源化施設の受入基準が分かりにくい／厳しい
- ③スペース
- ④距離（搬入手間）
- ⑤市民への啓発
- ⑥再資源化の技術開発
- ⑦再資源化製品の利用促進
- ⑧発注金額
- ⑨契約内容
- ⑩法規制
- ⑪自家処理

- ・ 中長期的に取り組む課題
- ・ 京都市が調整・検討する課題 等



より現場として取り組めそうな
2つの課題を抽出！
第2回ワークショップでは、この
2つの課題の改善策について、
アイデアを出し合います。

● 第2回ワークショップにおけるアイデア出しのテーマ

現場での異物除去・選別の手間を減らす

異物（ごみ類）除去の手間を減らす工夫
異物（土・石）除去の手間を減らす工夫
枝・葉・草等の選別の手間を減らす工夫

再資源化施設に持ち込みやすくする

受入基準
顧客サービス
周知方法

● 次回の開催内容

第2回ワークショップ

目的 「課題の解決策やその周知方法についてのアイデア出し」

日時 平成25年1月16日（水） 18：30～（約2時間半）

場所 サンサ右京5階大会議室 1

内容 「現場での異物除去・選別の手間を減らす方法」「再資源化施設への持ち込みやすくする方法」と、それらの周知方法についてアイデアを出し合います。



剪定枝・刈草の資源化に向けたワークショップかわら版 第1号

編集・発行：京都市環境政策局事業系廃棄物対策室

京都市中京区河原町通二条下の一之船入町384 ヤサカ河原町ビル7階

TEL：075-366-1394 FAX：075-221-6550